



Sr.池崎の

ブラジルから

Boa tarde!

(ボア タールジ! : こんにちは!)

第6回目 7月17日(土)~7月23日(金)までのレポート

7月17日(土) 冒険小旅行

今日は、クリチバから 70km くらい離れたモヘッチスという町へ、一人で(ここがポイント)電車やバスに乗り、バヘアードという郷土料理を食べに行ってきました。モヘッチスへの鉄道は、深い森と溪谷を通り、ブラジル屈指の景観美として名高い鉄道です。この電車は、かなりの人気なので、予約をしておいた方がよいそうです。ですから、先週末に電車と帰りのバスを予約しておきました。小旅行は、そこから始まっているわけで、ポ語を話せない私にも予約ができ、先週は自分でも大変うれしかったです。



今日の晴天を願っていましたが、あいにくの雨。しかも、寒い。予約してあるので行くしかありません。駅まで徒歩の予定でしたが、結構な雨だったので、いきなり冒険でタクシーに切り替えました。次は、電車駅。自分の電車・車両・席が分かりませんでした。何とか解決。電車内は、家族連れがいっぱいでした。車内では、お菓子と飲み物が食べ放題。私は、バヘアードを食べるため、はじめに配られたお菓子だけにし、飲み物も寒かったので最初のコーヒーだけにしました。すると、車内のガイドさんが気遣ってくれ、何度も、「何かいらないのか？」と尋ねてくれました。左上写真は車窓からの風景です。本来、ものすごく綺麗なはずですが、これが限界でした。ということもあり、私が日本人でガイドの説明も分からなかつたろうということもあり、ガイドさんが「是非、天気の良い日にもう一度来てください」と英語で言って、降車時に見送ってくれました。



右上写真は、モヘッチスの町並みと食事をしたホテルのレストランです。晴れていれば、石畳の道に情緒を誘われる美しい町なのだろうなと思いました。



いよいよ、バヘアードです(右写真)。12 時間以上煮込んだビーフやベーコンなどの肉にマンジョーカの粉をかけ、バナナやライスを添えて食べるものです(7月1日に DITEC 訪問時に食べています)。本場に来て食べたという気分的なものも手伝い、とても美味しかったです。レストラン沿いには、ニュンディアケラ川が流れ、食事時の眺めも最高でした(料理は注文しました)。

雨のため、市内散策を早めに切り上げバス停探し。なんとか見つけましたが、予約時間までに2時間位。思い切って1本早いバスに乗れないか交渉しました。なんとかOK。ブラジルの長距離バスは乗り心地がよかったです。行きの電車は3時間半で96レアル、帰りのバスは1時間で約12レアル。この所要時間と値段の関係はどうなっているのでしょうか？

日本国内であれば、タクシー・電車・バスの乗車、レストランでの注文・バス停探しなど簡単なことなのですが、言葉の分からないここブラジルでは、わくわくドキドキでした。今日は、ちょっとした冒険小旅行を楽しむことができました。

食事情②(今日は特別な活動をしなかったので、特番です)

今日は、先日に続きクリチバ食事情②ということで、夕食の紹介です。とは言っても、夕食も、昼食と同じ食事形式なので、代わり映えするように、日本料理店の様子を紹介します。

写真①は店頭にてしている料金表です。上段が昼食、下段が夕食です(ですから、昼食も同じ形式です)。この店は、メニューを見て注文する方法の店舗もありますが、この表示は、一人あたりビュッフェ形式の表示の入り口です。

店内に入ると、昼形式と同様、自分の食べたいものを自由に選択しお皿に載せます。しかも、食べ放題。写真②には、巻き寿司もいっぱい並んでいることが分かります。キュウリの酢の物、たくわん、きんぴらゴボウ、卵焼き、焼きそば…、結構な日本食が用意されています。あさりのみそ汁も添えて、とりあえず私の一人分です。しかし、食べ放題なので、もちろんお代わりもしました。この店のアサリのみそ汁には、お好みで天かすとネギを入れることもでき、日本で食べるみそ汁と同じ味がし、日本を思い出すことができるほど美味しいです。



ALMOÇO	
DE 3ª A 6ª FEIRA	①
BUFFET.....	R\$ 20,80
SÁBADO, DOMINGO E FERIADOS	
BUFFET.....	R\$ 26,70
JANTAR	
BUFFET.....	R\$ 26,70
RODÍZIO.....	R\$ 59,00
(SUSHI + SASHIMI + TEMPURA)	



④ また、自分が選択してきたもの以外に、写真④のように

いくつかの料理の出来立てを持ってきてくれて、希望すればお皿にのせてくれます。これは、焼き魚です。これも、日本の味がします。その他に、魚のフライ、野菜の天ぷら

なども持ってきてくれます。これらもとても美味しく腹いっぱいになります。



⑤ 写真⑤は、店内の様子です。日本料理は、こちらでは比較的高価な食事だといわれています。写真①の料金をみても、結構高めです(10%の税別)。しかし、かなりの人気(写真⑤)でお客さんもいっぱいです。日系・非日系問わず好んで日本食を食べるみたいです。おもしろいのは、箸です。箸を上手く使うことができない人のために、箸の持ち手側を輪ゴムでとめたもの(斜めに削ってあるので、輪ゴムで止めると自然に箸が開いた状態になっています。ですから、開いた箸を閉じるだけで物がつかめる仕組みです)を用意し、誰でも箸が使えるようにしています。



⑥ 最後は、食後のコーヒーの紹介です。この店に限らずですが、食後のコーヒーを、日本のように食後ゆったりと席で飲むのではなく(ゆったり飲むこともできますが)、会計場所近くに、写真⑥のようなコーヒータンク(ポットの場合も)があり、小さなカップにコーヒーを注いで飲みます。食後の口直し程度です。

(断りますが、決してお店の宣伝ではありません)

7月19日(月) 文化局訪問

今日は、文化局を訪問しました。教育局と同等の立場にある州の機関です。文化局の仕事は、教育局の仕事に大変関連が深いということで、お忙しい文化局長さんに時間を割いていただきました。写真①が文化局の建物です。建物自体が、文化遺産と思える建物でした。こういう建物を、CENTRO (中心部) に保存しているところが、パラナ州のすばらしいところです。これまで皆さんにも観光名所でいくつも紹介してきましたが、中心部の特別な観光名所だけでなく、古い建物と新しい建物をマッチさせ都市計画が行われています。

写真②は、文化局の仕事の一つである建物や文化遺産の管理保存をしているということで、見させていただいた写真集です。



③

また、文化局が最近教育関連で進めている事業として、写真③のような小さな図書館づくりを行っているという話がありました。パラナ州は、まだまだ若い州で、図書館が整備されていない小さな市や町もたくさんあるそうで、そのような小さな市や町 355 都市にこの小さな図書館を作っているそうです。教育は、学校だけでなく地域で教養を高める施設や機会が必要

であると考えての取り組みだそうです。大変すばらしいことだと話をした後、私が知っている範囲の豊橋市の市立図書館のこと、各校区市民館や地区市民館内にある小さな図書室のことを紹介すると、パラナ州でも最終的にはそのような小さな単位での図書館整備を目指したいということでした。しかし、ブラジル国内でも、このような取り組みを行っているところはパラナ州だけで、これでもパラナ州は進んでいるということが分かりました。最後に、皆さんと一緒に写真を撮っていただきました(写真④、私の右隣が局長さん。歴史の先生だそうです)。

文化局長を訪問後、近くで、文化局の催し物が開催されているということで覗いてみました。そこでは、廃物を利用して綺麗な人形や飾り物を創っているおばあさんの個展を行っていました(大統領から表彰されたそうです)。愛嬌のよいおばあさんで、一緒に写真を撮ってくれるように依頼したところ、自作の廃物による衣装をわざわざ身につけ、自作のラッパを持ち出し、その音の意味することを楽しげに話しながら説明してくださったり、踊りの披露もしてくださったりしました。年齢を聞くと、78歳。前転やリズムに合わせて踊る姿からはとても年齢を感じさせませんでした。



①



②



④



⑤

7月20日(火) 技術とサイエンス局訪問とニッケイ新聞掲載

今日は、技術とサイエンス局を訪問しました。ここは、昨日同様、州教育局と同等の立場にある州の機関です。この局では、技術と科学に関する様々な研究を行うと同時に、州や国の大学の管理も行っており、私の訪問は、教育に関係する大学関係の情報交換が主目的でした。



パラナ州には、連邦（国）大学が3校、州立大学が7校あるそうで、学生数は、約15万人。私立大学生も含めると、パラナ州での大学生数は約25万人だそうです。パラナ州内の大学在籍相当(18~25歳)人口の約50%にあたるそうです。つまり、パラナ州では、約半数が大学進学者になります。かなり高い割合といえます。ただ、ブラジル全土では、18%だそうですので、パラナ州の教育水準がいかに高いかを物語っていると言えます。

近年の問題として、専門教育を受け専門家になりたい人の増加に伴い、高校レベルからの専門家養成が必要になってきているそうです。そこで、日本では、高校段階で普通科高校と専門科高校があること、また、工業高等専門学校もあり、早い段階から技術系の専門家を養成していることを紹介しました。まさに、今、パラナ州が考えている姿がそれだと言っていました。

また、パラナ州の教育予算（州予算の30%）は、州の教育局とこの局も含めた予算であることもあり、お互いに密接な連携を採りながらパラナ州の教育を推進しているという話を聞き、お互いの連携がとても大切だと感想を述べさせてもらいました。

話は変わりますが、ブラジル国内発行のニッケイ新聞に、私の訪伯が取り上げられました(7月17日付)ので報告します。

ニッケイ新聞

購読をキャンセル

さい。なお、問い合わせはニッケイ
nikkeypdf@nikkeyshimbu

| ホーム | 連載 | 無料メルマガ | コロニア語辞典 | リンク集 | ガルメクラブ | 健

トップニュース

2010年7月17日付け

伯国体験を外国人児童教育に＝豊橋市教委の池崎さん＝半年かけパラナ各地で視察

愛知県豊橋市教育委員会からの長期派遣として6月1日から、池崎勇さん(いさむ、52歳、富山)がパラナ州に滞在している。目的は、同市とパラナ州間での教育システム等における情報交換とともに、外国人児童教育に役立てるためブラジルの文化、社会自体を知ること。約半年間、州都クリチーバや北パラナを中心に、各地の教育局や学校などを訪問する予定だ。



写真＝パラナ州の教育局を訪れた池崎さん(本人提供)



7月21日(水) 今後の予定と打ち合わせ

今日は、私のパラナ州滞在中の仕事の調整をしてくださっているベターニアさんと、10月後半の業務についての打ち合わせを行いました。今日の打ち合わせ内容紹介の前に、今後の予定で、変更になった部分もあるので紹介します。

8/4(水)~8/12(木) 日本、一時帰国

8/13(金)~8/31(火) マリンガ滞在 マリンガ市にて、州や市教育局・学校訪問
9/1(水)~9/10(金) マリンガ滞在 パラナヴァイ市にて、州や市教育局・学校訪問
9/11(土)~9/22(水) マリンガ滞在 アプカラナ市にて、州や市教育局・学校訪問
9/23(木)~9/28(火) マリンガ滞在 アラポンガス市にて、市の教育局・学校訪問
9/29(水) マリンガ滞在 アサイ市にて、市の教育局・学校訪問
9/30(木)~10/9(土) マリンガ滞在 ロンドリーナ市にて、州や市教育局・学校訪問
10/10(日)~11/28(日) クリチバ滞在 クリチバ市にて、州や市教育局・学校訪問

当初は、アサイ市やロンドリーナ市への訪問は、予定に入れてありませんでしたが、こちらに来てから日系の方とお話する内に、訪問する方向になっていきました。どちらも、日系の方の多い市です。

今日の、打ち合わせですが、10月10日以降の内容について、私からの希望を伝え、それが可能かどうかの確認をしたかったからです。私の希望としては次のようなものです。

(州関係)

- ・これまで訪問予定があったが、実現できなかった部署への訪問 (3カ所)
- ・州局内で、自分が訪問希望する部署への訪問 (2カ所)
- ・州立学校の転出入を取り扱っている部署への訪問
- ・州立の特色ある学校への訪問 (3~4校)
- ・州立学校の先生や生徒との座談会、一日制学校と半日制学校の両方
- ・州立学校5~8年生の内1学年の授業参観 (1時間中、できれば数学、PDE 経験教師)

(市関係)

- ・市の評議会への参加
- ・市立学校の先生や子どもとの座談会、一日制学校と半日制学校の両方
- ・市立学校1~4年生の内1学年の授業参観 (1時間中、できれば数学)

(その他：こちらに来てからの話で個人的に今後、各方面に相談したい内容)

- ・私立学校訪問
- ・非公式な場での現場の先生との対談
- ・日本語学校訪問
- ・日本語学校とブラジル学校の両方を経験している子や保護者との座談会
- ・日本語学校通学児童との対談
- ・大学の先生との対談
- ・大学での講演

私の希望を詳しく載せたのは、皆さんにもご意見を伺いたいからです。上記以外に「こんなことは、どう?」ということはないですか?可能かどうかは分かりませんが、ご意見ください。

7月22日(木) ログと日本食レストラン

今日は、いつもの報告とは趣の違う話を2つします。

私の通勤や公務移動は、公用車で送り迎えをしてもらっています。その公用車には、写真①のようなロゴが付いています。しかし、写真②の公用車を見るとロゴがありません。

これは、車による違いを示したかったわけではなく、7月上旬に州知事の選挙活動が開始されてから、ロゴが外されるようになったことを言いたかったからです。その訳を聞いてみると、次のようです。今回の選挙には、現政権を継承しようと考えている人と異なる考えの人が立候補しているそうです。公用車に使用されているロゴ(写真①)は、現政権で考えたロゴだそうです。つまり、このロゴを付けて走ることは、公用車が現政権支持の選挙活動をしていると捉えられるためロゴを取り外したそうです。

また、右の2枚の写真は、私が文化局からいただいたCDです。写真③はシールが貼ってあり、写真④はそのシールを剥がしたものです。これも同じ理由で、ロゴにシールを貼り、隠しているそうです。選挙に敏感になっている国民性が伺われます。



もう一つ全く別話題ですが、日本食レストランの紹介です。市役所多文化共生・国際課の横山さんから、クリチバにある日本食レストランをメールで紹介していただきました。横山さんは、以前クリチバで生活していたようで、当時この店をよく利用されていたそうです。ホテルから歩いて、15~20分ぐらいのところ、手頃な距離にあります。以前にも紹介しましたが、ブラジルの飲食店は夜の7時ぐらいにならないと開店しない店が多いため、初めての店を探すのに夜の暗い中では不安もあったので、まず、日曜日に探しました。ところが、先週の日曜日は、店を見つけることができたのですが、開店していませんでした。潰れたのかその日が休業日なのか分かりませんでした(後で聞いた話だと、第3日曜日のみ休業日だそうです)。そして、月曜日(横山さん情報では、この月曜日は休業日でしたが)に再チャレンジ。ところが、この日は、歩いている途中で雨が降ってきてしまい、諦めて引き返しました。そして、再再チャレンジでようやく店へ入店しました。入ってびっくり、店内はまさしく日本風(写真⑤)。そして、注文した握り・刺身・巻きずしもまさしく日本風(写真⑥)でした。まさに、日本料理店でした。とても美味しく落ち着いて食べることができました。横山さん、ありがとうございました。





7月23日(金) クリチバ落書き事情

今日は、クリチバの落書きについて報告します。これまで、クリチバの観光地や町の風景を報告し、クリチバの美しさが分かっていただけたと思います。しかし、その反面もあります。

①の写真は、7月2日付で報告した Paco da Liberdade という歴史的な建物で、大変美しい建物です。しかし、この写真を撮ったその場所に、②の写真の落書きがありました。前を見れば美しい歴史的建造物なのに、振り返ると落書きがある状況です。

同様に、写真③は、7月19日に訪問した文化局です。建物自体が文化遺産のようだと紹介しました。しかし、道を挟んだ左方に目をやると、同じ文化局の別棟に写真④のような落書きがあります。とても悲しい光景と言わざるをえません。



このような落書きは、街中の壁やシャッターなど、多く(街中でなくても田舎の方でも同様)にあります。



写真⑤は、校舎壁面です。この壁面にも落書きがあります。



⑤ 日本では、校舎の壁面に落書きがあれば、その日のうちに消し、現状復帰かあるいは落書きが見えない状態にします。7月10日に訪問した学校地域の取り組みをしている校長先生と落書きについて話をしたところ、その校長先生も、子どもの学習環境として落書きのある状態は決してよくないと考えていらっしゃる、その学校でも、落書きがあった場合直ぐに消すようにしているが、堂々巡りになることが多いということでした。この辺も、ブラジル教育の難しさなのかもしれません。

写真⑥は、10階ぐらいの高層ビル最上階に落書きがあります。しかも、屋上や窓から手を伸ばしてかけるような状態の落書きではありません。どのようにして書いたのか想像もつきません。話によると、「若者が、こんなところにも自分は落書きができるんだと、仲間たちとその能力?を自慢し合っているのだ」ということでした。



写真⑦は、落書きに関連するかどうか分かりませんが、街中を掃除する黄色い服を着た人です。クリチバ中心部の公園や道路は、このような方が絶えずゴミを掃除しています。まるで、ディズニーランドのようです。しかし、このような人がいてはじめて綺麗なわけで、田舎の方に行くと、かなりのゴミが落ちています。落書きもゴミも、モラルの問題だと思います。せつかくの美しいクリチバの町を何とか綺麗に守りたいものだと思います。



写真⑦は、落書きに関連するかどうか分かりませんが、街中を掃除する黄色い服を着た人です。クリチバ中心部の公園や道路は、このような方が絶えずゴミを掃除しています。まるで、ディズニーランドのようです。しかし、このような人がいてはじめて綺麗なわけで、田舎の方に行くと、かなりのゴミが落ちています。落書きもゴミも、モラルの問題だと思います。せつかくの美しいクリチバの町を何とか綺麗に守りたいものだと思います。